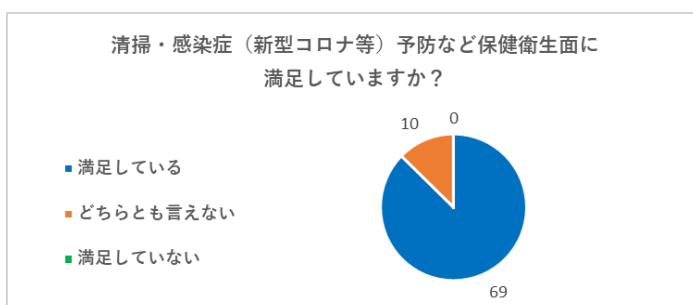
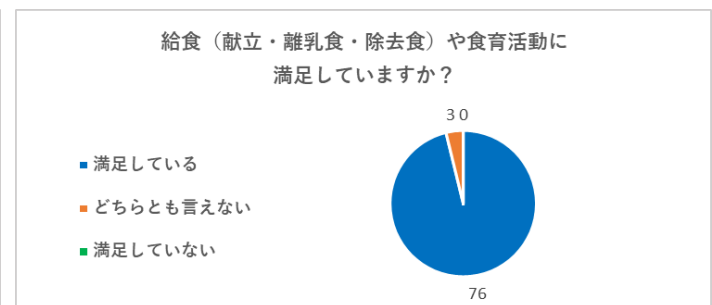
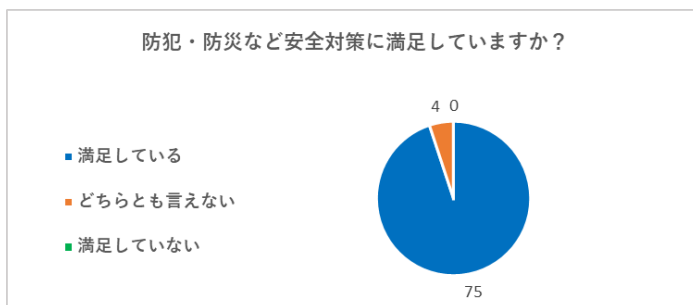
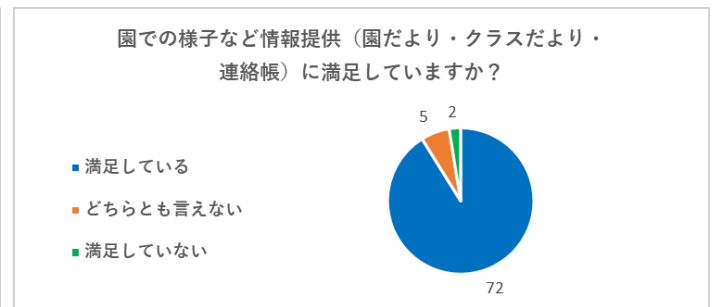
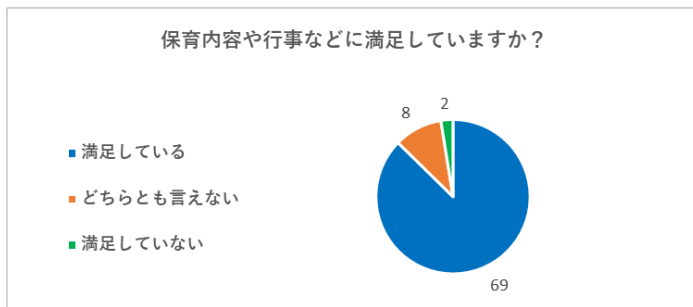
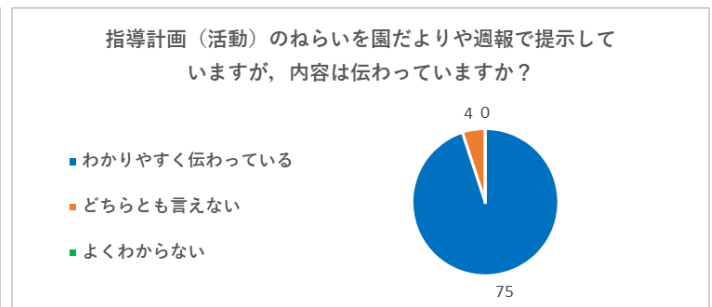
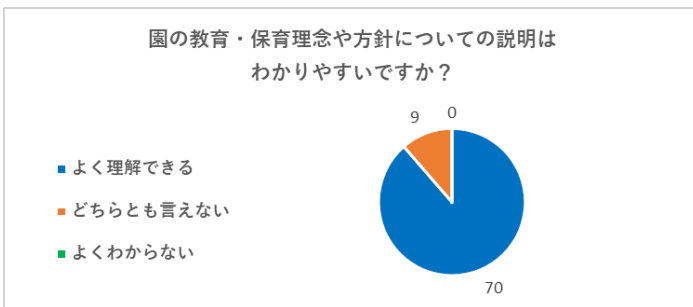
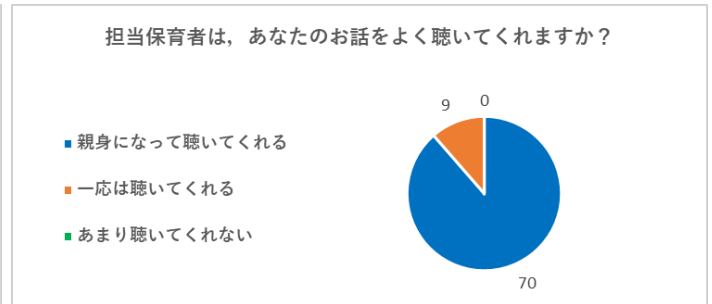
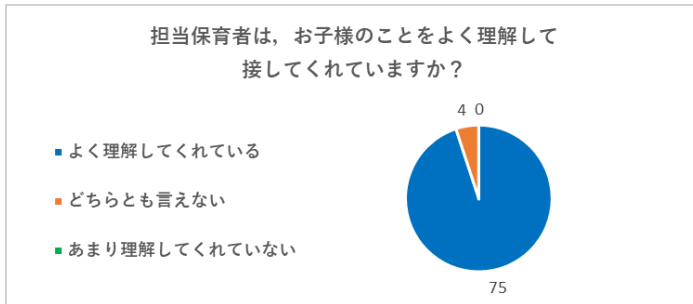
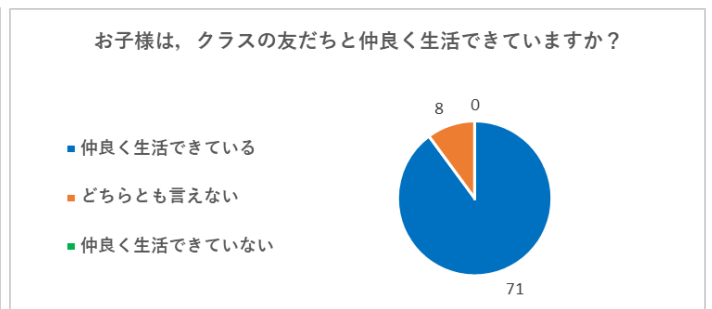
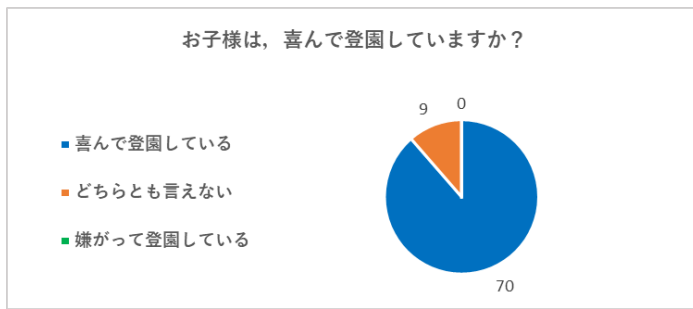


令和4年度 おおぞらこども園 評価アンケート集計結果（保護者用）

（R4.12.12～R4.12.24実施 サンプル数 79/95名 提出率 83.1%）

令和5年3月3日



【コメント】

- with コロナで過ごしたこの一年、コロナ感染が拡大した時期もあり心配しましたが、多くの子どもたちが、園生活を楽しんでくれているようでした。登園時、離れ際に涙を流したり、家を恋しく思うこともあるようでした。その日その時で、子どもたちにも理由があるようです。今後も子どもの心の動きに寄り添いながら、気持ちが落ち着き、あそびの空間に入れるよう配慮していきたいです。
- 子どものあそびには、それぞれ歳児や月齢で違いが見られます。月齢的に、まだ上手く話せない子どもたちは、保育教諭が中に入り気持ちをくみとり代弁しています。一人あそびを好んでいる子どももいれば、友だちのあそびを近くで観察しながら、一緒にあそびに参加しているかのように、にこにこしている姿も見られます。言葉を会話としてやりとりできるようになると、対相手の存在が生まれます。「ありがとう」「ごめんね」など関わりあう中で、さまざまな経験を積めるのも、この集団生活の中で大切なことと感じます。子どものあそびの空間に保育教諭も自然と入り、ささいなやりとりも共感したり、喜び合ったり、時にはともにチャレンジしながら過ごしていきたいです。
- 今年度もコロナ禍の行事に対しては、環境・時間・人数など、さまざまなことを配慮しつつ、計画・実行させていただきました。皆様のご理解ご協力に感謝です。これからも経験を生かし、楽しいものになるよう取り組んでいきます。
- 「お帳面と伝達が同じ」という内容に関しては、職員のシフト関係で担任が直接お伝え出来ない場合があり、重複はしますが、内容によっては口頭でお伝えさせていただく場合もあります。今後も引き続き子どもたちの様子や連絡事項等を職員で共有しお伝えして参ります。
- 日々の教育・保育やさまざまな行事において、保護者の皆様からも多くのご意見をいただき感謝いたします。とても心強かったです。皆様からのご意見は、全職員で確認し、すぐ実行に移せること、時間をかけて見直すこと、出来ないこと等をしっかりと分けし、子どもたちがより良い園生活を送れるよう努めていきます。また今年度も保護者の皆様のご協力のもと、月 1 回の「全職員研修会」の時間を設けさせていただけたことに感謝でいっぱいです。ありがとうございました。これからは after コロナのもと生活をする事となりますので、引き続きご理解ご協力くださるようお願いいたします。

今回のアンケートの中でも、子どもたちの成長の喜びや職員への励ましのお言葉等たくさんいただき、とても嬉しかったです。今後とも『子どもたちの「今の幸せ」のため！そして「未来の幸せ」のため！』に全集中していきます。皆様からの『お声』一つ一つに、誠意をもって応えていけるよう全職員で頑張ります。今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございました。

(学園長 上原樹縁／園長 上原真由美／主幹保育教諭 吉松裕子)